

2024年2月吉日

会員各位



一般社団法人群馬大学工業会 さいたま支部

2024年度 群馬大学工業会さいたま支部総会のご案内

皆様方益々のご清栄の事と、お慶び申し上げます。

さて、2024年度の支部年次総会を4月20日(土)、下記の要領にて開催いたします。

さいたま支部総会の前に、さいたま支部が属している埼玉県連合支部の総会が開催されます。そのため支部総会は、**14時10分開催**となります。

本年度の特別講演は、川田修司さん(修55C)に、タイで国際協力機構(JICA)海外シニアボランティアとして排水処理技術支援活動をされた体験、及びタイのあれこれ(宗教・お寺等、タイのお勧めアクティビティ等)などについて、ご講演いただきます。

今回の講演会は、会場対面法式とリモート方式の併用型(ハイブリッド型)で実施いたします。

多くの皆様にご出席いただけますようご案内申し上げます。

記

日時 2024年4月20日(土) 14:00~16:50

会場 浦和パルコ 10F さいたま市浦和コミュニティセンター 第1集会室
JR浦和駅東口 徒歩1分

- 内容 1. **さいたま支部総会** 14:10~14:50
- ① 連合支部長挨拶 連合支部、本部の状況など 小西連合支部長
 - ② さいたま支部2023年度活動報告/2024年度活動計画案 小西支部長
 - ③ 2023年度決算・監査報告/2024年度予算案 吉野財務委員長 長谷川会計監査
 - ④ その他 小西支部長
2. **特別講演** 15:00~16:50 (講演後質疑応答 ~10分)
- 演題 “ JICA ボランティアと一緒に疑似体験してみよう ! ”
- 講師 川田修司 氏 (修55C)
3. **懇親会** 17:00~19:00
- 会場 中国料理 Lop-Nor 浦和店(浦和パルコ5F) Tel 048-611-8321
- 会費 飲み放題コース 5,000円

*準備の都合上、**4月12日まで**に、同封のハガキにてご出席の回答をお願い致します。

15時からの講演会へのご家族の方の参加、大歓迎です。

尚、E-mailにての連絡は kenji.konishi@kme.biglobe.ne.jp 小西宛お願い致します。

欠席される場合も近況など記載の上ご返信ください。

以上

群馬大学工業会 さいたま支部長 小西 憲二
副支部長(総務委員長) 井上 勝己
副支部長(財務委員長) 吉野 勝三郎



タイ工業省産業振興局は産業振興のためのマスタープランの策定や中小企業への技術支援を行っており、私はここで中小企業の排水処理の技術コンサルタントをしている。

◇タイ中小企業の排水処理に関する実態

2016年10月から食品加工などの中小企業の支援を行う産業開発第2部に配属され、要請のあった中小企業に出向き「3R = Reduce, Reuse, Recycle」の視点を取り入れたコンサルタント活動を開始した。中小企業を訪問して感じたのは、排水処理に関する知識が乏しいことと、技術者と呼べる人材の不足である。数年前に設置したと思われる排水処理設備が朽ち果ててしまっていたりする。定期的な訪問・指導、教育資料、研修会などシステム化した取り組みが必要だ。サプライチェーンの中では、孫請けなど最終的には中小零細企業で製造していることも多いが、特に重金属を扱うメッキ工場の排水処理について注意が必要だと感じた。



排水のpH測定

◇Thailand 4.0の始動による組織変更

昨年10月からタイの新経済政策「Thailand 4.0」が開始され、産業振興局内の組織が大幅に変更になった。Thailand 4.0とは中進国の罫(わな)から脱出するために、タイの産業を創造的で革新的なものに変革して行こうというもので、ロボット工学やデジタル産業など10の重点産業の育成を目指している。私の所属していた産業開発第2部はデジタル産業開発部に衣替えになり、人事異動も行われつつある。しかし、中小企業の排水技術支援の業務は無くなった訳ではなく、デジタル産業開発部で対応している。現在は、組織変更の過渡期であり、中小企業の排水技術向上によりふさわしい部署ができてくると期待している。

◇中小企業の排水処理改善活動事例



3部署でのココナツ工場調査

昨年、議会関係者がサムトソクラーム県で公聴会を開いたところ、ココナツ工場の排水が適切に処理されていないという意見が出た。この根本原因は「中小企業の排水処理に関する知識が乏しい」ことであり、これは産業振興局の業務範囲だと議会事務局からレターが送られてきた。管轄する産業振興局の第8地方事務所(IPC 8、11まで)とわれわれ(3人)と県で共同して3月から対応している。県知事からは、「サムトソクラームは漁業、観光とココナツ、バナナが主な産業であり、こうした排水問題でこれらの産業に影響が出ることを心配している。また、いろいろな規模のココナツ工場があるが、規模に適した、安価な処理方法を提案願いたい」との要

望がでている。

現在、3部署で協力して現状調査し、改善案の策定に向けて、検証をしながら進めている。線路内に広がる露店で有名なメークローン駅や漁業(養殖、干物)のことは知っていたが、少し内陸に入ると薄暗いココナツ樹林が広がり、タイの豊かな自然を感じている。

◇環境意識向上とエコタウン

タイ工業省工場局では工業団地を対象とした“Eco Industrial Town”活動を推進している。しかし、これでは工業団地外の住民、地方自治体、中小企業の参画が進まない。日本で過去に実施した“Eco Town Project”が参考になるのではないかと講演依頼があり、クラビ県やランパン県で講演した。環境保全に対する意識を広い範囲で醸成するのはEco Townのような仕掛けが必要なのではと思うので、今後も関わっていききたい。

【筆者紹介】川田修司(かわた・しゅうじ)

三十数年勤務した化学会社を退職後、2016年10月より国際協力機構(JICA)海外シニアボランティアとして工業省産業振興局に赴任。中小企業を対象とした排水処理技術改善の支援を行う。群馬県伊勢崎市出身。1956年生まれ。



ランパン県でのEco Town紹介